

市有財産の無償譲渡について

1 土地の情報

所在地 安芸高田市吉田町西浦字日南山 835 番 27
地 目 雑種地
面 積 6,642 m²(内平坦部：4,370 m²)

2 譲渡先

所 在 広島市中区基町15番2-1号
名 称 株式会社サンフレッチェ広島
代表者 代表取締役社長 久保 雅義

3 経緯

安芸高田市吉田町西浦に整備した安芸高田市サッカー公園(サンフレパーク)を、クラブチームの練習拠点とする株式会社サンフレッチェ広島から、同クラブのユース寮に関して次のように相談があった。

- ・築25年を経過した既存の寮は、老朽化による空調や水回り等の修繕費が増え、手狭になったことから、寮の建て替えの検討を進めている。
- ・新たな寮の建設では、現在のユース生(高校生)に加え、ジュニアユース生(中学生)の受け入れも予定している。(近年、競技スポーツ界全体で若年層の育成が重要視される中、同クラブも「日本一の育成型クラブ」を目指している。)
- ・全寮制のジュニアユース生の受け入れは大きな挑戦だが、長年ユース生の受け入れを共に行い成果を挙げてきた安芸高田市と一緒に取り組むことができれば、可能と考えている。寮の建て替えができる土地の紹介をお願いしたい。

市は、同クラブの意向を受け、適地の選定を行い、次の理由から日南山丹比グラウンドが最適と判断した。

- ・主な練習場であるサンフレパークと、通学先の吉田高校・吉田中学校の間にあること。
- ・日南山丹比グラウンドの具体的な活用用途が立っていないこと。

4 無償譲渡とする理由

株式会社サンフレッチェ広島が、ジュニアユース生も対象にしたアカデミー強化プランを安芸高田市で実現することは、市にとって大きなメリットがあると考えます。

- ・1学年15人の中学生が、少子化で年々生徒数が減少する本市の中学校に毎年入学するという大きなインパクトがある。
- ・サッカーにひたむきに取り組むユース生、ジュニアユース生が身近に存在し、共に学校生活を送ることによる生徒に対する好影響がある。
- ・市内及び周辺市町のサッカーに取り組む小学生にとって、本市が目指すべき目標になる。

- ・ジュニアユース生も加わることで、地域住民による応援機運をより高めることができ、地域スポーツの活性化やコミュニティへの愛着につながる。
- ・チーム関係者だけでなくサポーターの来訪も増え、多様な関係人口の創出に貢献する。

以上のことから、本市にとって非常に有益であると判断したため、新たな寮建設のための用地として土地を無償譲渡するものである。

5 位置図



6 現況写真

